

K-ABC 中央事例研究会のご案内

若草の季節になりましたが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、第1回中央事例研究会のご案内をお送り致します。ずいぶん参集の会も行いやすくなってきたところですが、念のため感染対策を十分にとりながら皆様と一緒に学びたいと思います。

なお、本事例研究会で学校心理士更新ポイントB1のポイントを申請中です。

記

日時 : 2023年5月27日(土) 14:30~16:30
場所 : 『アトラスタワー 茗荷谷』 3階 図書文化社 301大会議室
発表者 : 坂口由貴子 先生 (須崎市立須坂小学校 ことばの教室)
中村 佑夏 先生 (長野県長野ろう学校)

テーマ : ことばの表出に課題のある年長難聴児への支援
~特性に応じた支援について~

概要:本事例は、伝えたいことはたくさんあるが、ことばがうまく出てこない、伝えたいことが文にならない軽度難聴児の実践事例である。KABC-IIを中心にしたアセスメントの結果から、語彙力はあるが使いきれしていないこと、視覚と聴覚にアンバランスさがあり、視覚よりも聴覚から情報を入れていること、無意味な視覚刺激の処理に困難さがあることが推察された。そのような本児の認知特性を把握した後、関係職員で共同支援体制を構築し、支援・指導を行うことにした。

定員 : 30名(申し込み先着順とさせていただきます)

申し込み資格: 日本 K-ABC アセスメント学会会員

申し込み方法: 以下のアドレス宛にメールにてお申込みください。

☆件名を「K-ABC 中央事例研申し込み」として、以下4点を明記してください。

- ①氏名
- ②会員番号
- ③勤務先(学生の場合は大学名)
- ④所属している地域研究会

申し込み先: kabc2022soumu@gmail.com